

## モデル衛星連携研究会 2017

2017年8月1日(火) 10-17h (予定)

場所：[東京大学大気海洋研究所 総合研究棟](#) 270 号室

発表時間：質疑含めて 15 分/人。

10:00

佐藤正樹 (AORI)：概要

久保田拓志 (EORC)：JAXA の地球観測衛星ミッションとモデル衛星連携研究

村上浩 (EORC)：GCOM-C の特徴について

立入郁 (JAMSTEC)：衛星データを利用した地球システムモデルの改良可能性の検討

Hyungjun Kim (東大生産研)：Validation Strategy for TRMM/GPM Considering Physical Conditions of Land-Atmosphere

黒木聖夫 (JAMSTEC)：衛星観測データを用いた日本沿岸モデル結果の検証

日原勉 (JAMSTEC)：高解像度海洋モデルを用いた衛星海面水温同化システムについて

13:30

端野典平 (九大応力研)：Joint-Simulator の最近の開発状況

小倉知夫 (NIES)：次期 IPCC 報告へ向けたモデル間相互比較プロジェクト (CMIP6/CFMIP3)における衛星データ利用

川合秀明 (気象研)：気象研全球モデルの雲スキームの改良

原旅人 (気象庁)：気象庁数値モデルの衛星検証(仮)

岡本幸三 (MRI)：領域・全球モデルを用いた、ひまわり全天候赤外輝度温度のモデル比較と同化

休憩

15:30

小槻峻司 (AICS)：NICAM-LETKF を用いた GPM/DPR データ同化実験

Woosub Roh (AORI)：Evaluation of thermodynamics phases of clouds in NICAM using CALIPSO and J-simulator

久芳奈遠美 (AORI)：衛星シミュレータを用いたバルク法とビン法の雲物理モデルの比較

道端拓朗 (九大応力研)：気候モデルと衛星観測によるエアロゾル・雲・降水相互作用の理解  
深化

鈴木健太郎 (AORI)：プロセス指向のモデル評価のための衛星観測の利用

高薮縁 (AORI)：GPM と気象庁 LFM を用いた潜熱加熱推定

清木達也 (JAMSTEC)：土壌水分量評価のための衛星マイクロ波放射計の土壌射出率の更新

18:00 懇親会 (柏の葉・漁師の里)